

中部緊急防災隊

防災隊式典・班長会議

一般社団法人 日本道路建設業協会中部支部(川端清太支部長)の会員を中心に中部5県の道路事業に携わる有志で結成する「中部緊急防災隊」(川端本部長)が7月24日に名古屋市名東区のサンプラザシーズンズで「中部緊急防災隊式典」を開催した。愛知、岐阜、三重、静岡、長野の中部5県から180人が参加、午前中には各地区の代表者と事務局により班長会議を開催し防災活動の一層の充実に向けて決意を新たにした。

式典では、開会の辞、隊旗入場に続いて川端本部長が訓示に立ち、「緊急時の道路確保に向け、これまでの経験を生かせるよう、連絡体制の強化と迅速な対応を図ってほしい」と呼び掛けた。

また来賓あいさつでは、国土交通省中部地方整備局の田村秀夫企画部長が「東日本大震災や台風災害での多大な尽力に感謝している。皆さまの活躍がなければ、速やかな救急活動や支援物資の供給が滞る。今後も来るべき巨大災害に備え、しっかりと準備を進めてほしい」とあらためて協力を求めた。

これを受け、一般社団法人 日本道路建設業協会本部の渡邊忠泰環境・安全労働委員長が「期待される防災隊を目指していきたい」と決意を述べた。最後に中部緊急防災隊民部順一隊長が綱領を朗読した。

中部緊急防災隊式典

